

科 目	情報処理	学年・類型	1年・商業	単位数	3
教 科 書		最新情報処理 （実教出版）			
副教材等		Excelで学ぶ全商情報処理検定テキスト 2・3級ビジネス情報部門			
学 習 目 標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、企業において情報を適切に扱うために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
学 習 心 得	1 エクセルを使用してのデータ処理方法やグラフ作成の基本を学習します。文字入力の基本（タッチメソッド）も完璧に修得し、処理技術・速度の向上を目指す。 2 表計算に使用する関数や、プログラミングの基礎、コンピュータの仕組みの基礎、インターネット利用のマナー等の座学も実施する。				
	単 元		主 な 学 習 活 動		
一 学 期	第1章 企業活動と情報処理 第2章 コンピュータシステムと情報通信ネットワーク 第3章 情報の集計と分析		・身近な事例を基に情報とは何かを考える学習活動により、情報の意義と役割を理解する ・コンピュータの基本的な機能と構成を理解し、ハードウェアとソフトウェアの種類と機能について理解するとともに、それを活用する基本的な技術を身に付ける。 ・情報の重要性を理解し、情報を分析して、傾向を把握する能力を身に付ける。		
二 学 期	第3章 情報の集計と分析 第4章 ビジネス文書の作成		・大量のデータを目的に応じた利用しやすい形で活用するために、表計算ソフトのデータベース機能を利用して、整列や検索、抽出の技法について理解する。 ・文書情報がコミュニケーションの重要な手段として、ビジネスの諸活動の中で果たしている役割や種類について理解する。		
三 学 期	第5章 プレゼンテーション		・ビジネス活動におけるプレゼンテーションの意義を理解するとともに、基礎的な技法を身に付ける。		

評 価 の 観 点 及 び 内 容		評 価 方 法
知識・技能	企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	授業中の取組 確認テスト
思考・判断・表現	企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。	ワークシートの課題 確認テスト
主体的に学習に取り組む態度	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業において情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	授業中の取組 ワークシートの課題